

# お知らせします。2つの給付金。

消費税率の引き上げに際し、所得の低い人や子育て世帯の家計への負担を減らし、消費の下支えを図るために下記のとおり「臨時福祉給付金」・「子育て世帯臨時特例給付金」が支給されます（受け取ることができるのはどちらか一つの給付金です）。

| 臨時福祉給付金  | 子育て世帯臨時特例給付金   |
|--|--|
| <b>●支給対象者</b><br>平成 26 年度分の住民税が課税されていない人<br>ただし、次の人は除きます。<br>・課税されている人に生活の面倒を見てもらっている人<br>・生活保護受給者など                         | <b>●支給対象者</b><br>次のどちらの要件も満たす人 ※<br>①平成 26 年 1 月分の児童手当・特例給付を受給<br>②平成 25 年の所得が児童手当の所得制限限度額未満<br>※特例給付とは、所得が高く、児童 1 人当たり月額 5,000 円を支給している人です。         |
| <b>●支給額</b><br>・ 1 人につき 10,000 円<br>※下記の加算対象者は 1 人につき 5,000 円を加算<br>・ 老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金などの受給者<br>・ 児童扶養手当、特別障害者手当などの受給者など | <b>●支給額</b><br>対象児童 1 人につき 10,000 円<br>※対象児童は、支給対象者の平成 26 年 1 月分の児童手当・特例給付の対象となる児童です。<br>ただし、次の人は除きます。<br>・ 臨時福祉給付金の対象となる児童<br>・ 生活保護の受給者となっている児童 など |

| 申請方法    |  |
|---------|--|
| ●申請先    | 猪苗代町役場 保健福祉課 ☎(62) 2115                        |
| ●申請受付期間 | ・臨時福祉給付金 6 月下旬～3 カ月間 ・子育て世帯臨時特例給付金 7 月上旬～3 カ月間 |
| ●提出書類   | 申請書 ほか   |

※両給付金ともに、平成 26 年 1 月 1 日現在、住民票のあった市町村へ申請が必要です。猪苗代町からの給付対象者となる可能性がある人には、6 月下旬に案内と申請書を郵送します。案内などをご確認の上、申請受付期間内に申請してください。

あなたの作ったCMで  
町の元気を発信しよう

## 「ふるさとCMコンテスト 2014」作品募集

- 「K F B・東邦銀行ふるさとCMコンテスト 2014」に応募する作品を募集します。あなたの作ったCMで町の元気を発信しませんか。
- 内容 町の元気や活力を表現した 15 秒のCM作品（未発表のもの）※作品規格など詳しくはお問い合わせください。
  - 対象者 町民または町内の学校や事業所、団体などに所属する人（共同制作可）
  - 申し込み方法 企画書を作成の上、町総務課に持

- 参、郵送またはメールで提出してください。
- ※企画書の用紙は総務課に備え付けてあります。町ホームページからもダウンロードできます。
  - ※CM大賞への応募は2作品までのため、応募多数の場合は企画書による選考を行います。
  - 申込締め切り 7 月 31 日（木）
  - 作品提出期限 9 月 19 日（金）
  - 問い合わせ・応募先 総務課 秘書広報係 ☎(62) 2111

# 笑顔でこんにちは

Hello in the smile



大好きなパパとママの間でごきげんな碧斗くん

「青く美しい石」という意味がある、碧斗くんの「碧」という字には、「努力を積み重ねて、輝く人になってほしい」という両親の願いが込められています。

## 後藤 碧斗 くん

平成 25 年 11 月生まれ  
～木地小屋  
誠さん・由美子さん夫婦の長男

最近、つかまり立ちを覚え、とにかく立ちたくて仕方ない碧斗くん。パパやママがひざの上でジャンプさせると、声を上げて喜びます。お気に入りのは、音の出るおもちゃ。「アイアイ」が流れると、「アー、アー」と一緒に歌っています。離乳食をモリモリ食べて、早寝早起き。「朝は 4 時ごろに起きて、マウスのコードをかじったり、ポットを倒したりと、いたずらし放題なので目が離せません」とママの由美子さんは笑います。ニコニコと笑顔を振りまく碧斗くんは家族の中心。「じいちゃんやばあちゃん、ひいじいちゃんもよく面倒を見てくれます」と由美子さん。たくさんさんの愛情に包まれて、碧斗くんの笑顔は今日もひときわ輝いています。※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。

## Circle introduction

当会は、昭和 42 年に発足し、3 年後には創立 50 年を迎えます。多くの先人が関わり、当地方の口から口へと語り継がれた伝承や口伝からの貴重な記録、資料などを収集、編さんし、今日に連綿とつながっています。今までに発行した会報は 47 号を数え、特集号も発行しており、地域の歴史資料として、多面的に利・活用されています。4 月に開館した「和みいな」には会報がそろえられ、また、販売もしています。毎年春、秋の研修およびむかし体験館（旧山内家）での囲炉裏端談義、古文書講習会などの活動をしています。現在 67 名の会員で活動しています。地域の歴史に興味がある方の入会をお待ちしています。※このコーナーでは、活動をPRしたい団体を募集します。希望する団体は広報担当まで問い合わせてください。☎(62) 2111

## 猪苗代 地方史研究会

（安藤 ともかず 会長）

入会をご希望の方は、下記までご連絡ください。  
事務局 鈴木清孝 ☎ 080 (3146) 7130



囲炉裏端談義終了後、講師の川井源治さん（前列左から 4 人目）を囲んで記念撮影（2013 年 9 月、むかし体験館）